

山口誓子生誕120周年 神戸大学創立120周年  
山口誓子記念館 誓子・波津女俳句俳諧文庫  
創立20周年記念出版

## 山口誓子を知る

—その生涯と俳句—

米田恵子 著 2022年4月刊行

俳人の山口誓子（本名新比古、明治三四年（一九〇一）～平成六年（一九九四））は、昭和二年（一九四八）に『天狼』を創刊し、現代俳句の発展に貢献した。没後、全財産が神戸大学に寄贈され、西宮市苦楽園にあった旧宅の一部を復元した山口誓子記念館が、平成一三年（二〇〇一）神戸大学の構内に建てられた。また、蔵書や遺品・手書き原稿などは、誓子・波津女俳句俳諧文庫に取められている。山口誓子について、その人生と折り折りの作品を紹介し、同時に俳句の楽しみを伝えたい。（本書「はじめに」より抜粋）

四六判・200p 定価 1,980 円（税込） ISBN：978-4-909364-16-6

## ポーポキのマスクギャラリー

～ コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る ～

Popoki's Mask Gallery:

Searching for everyday anshin through art during the COVID-19 Pandemic

編著・絵 ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander 2022年2月刊行

一緒に旅をしませんか？

コロナ時代にみんながしたくてできないことの1つは「旅」かもしれません。知らない世界を探検し、広い空を飛ぶ。遠く離れている場所にいる家族や友だちに会いに行く。今日の「今」から懐かしい昨日や夢見る明日へ旅立つ。

「旅」には無限の可能性、無限の希望、無限の夢が含まれているかもしれない。それらに到達できるかもしれないし、できないかもしれない。到達できなければ、再度「旅」に出ればいいのかもれない。でも、休むことも大事かもしれませんね。

本書を手にしたあなたと、ポーポキの日々のマスクを通して、心が温まったり、微笑んだり、もしかしてしぼんだり、泣いたり…。

ポーポキと一緒にゆっくりとこの本を、そしてご自分の心を旅していただければ、と思います。



A5 判上製・192p 定価 2,420 円（税込） ISBN：978-4-909364-15-9

## 価値創造の教育

神戸大学バリュースクールの挑戦

國部克彦 鶴田宏樹 祇園景子 編 2021年8月刊行

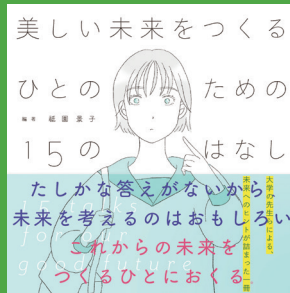


神戸大学バリュースクール（V.School）は、縦割りの学問領域に横串をさして、新しい価値創造教育を実践するために、2020年4月に設置されました。価値創造教育のフロンティアに挑戦し、価値のコンセプトで大学と社会をつなぐ神戸大学 V.School の教育研究活動を、スクールでの臨場感と躍動感をもって、皆さんにお伝えします。「思索と創造のワンダーランド」へようこそ！

A5 判上製・320p 定価 3,520 円（税込） ISBN：978-4-909364-14-2

## 美しい未来をつくる ひとのための15のはなし

祇園景子 編著 2021年3月刊行



専門用語ばかりで難しい大学の先生のはなし、でも、大学の先生たちが考えている「未来」は、分かるものすごくおもしろいのです。まちづくりや防災、太陽電池や天気予報など、さまざまな最先端の研究や活動をしている教授らの視点から見えている未来15編+コラムを収録

A5 変形判・144p 定価 1,650 円（税込） ISBN：978-4-909364-13-5

発行：神戸大学出版会

神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内

TEL078-803-7315 FAX078-803-7320

kupress@org.kobe-u.ac.jp

発売：神戸新聞総合出版センター

神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F

# 神戸大学出版会

Since 2017

## 出版目録

2022年5月

<https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>

## シリーズ 地域づくりの基礎知識

神戸大学地域連携推進室を事業本部として実施している「地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」事業（文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」）における成果をシリーズ化して刊行。



### 1 地域歴史遺産と現代社会

奥村 弘・村井 良介・木村 修二 編 2018年1月刊行

地域の歴史や文化を社会的に活用するにはどうすればいいのかわからない日本各地で取り組まれている大きな課題でもある。神戸大学では、阪神・淡路大震災を契機に歴史資料の保全や、自治体・地域団体とともに地域の歴史と文化を守り育てる活動を実践してきた。本書はその具体例を示しながら、魅力ある「地域」と「ひと」を創り出すヒントを紹介していく。

■ A5判・282p 定価 2,530円（税込） ISBN：978-4-909364-01-2

### 2 子育て支援と高齢者福祉

高田 哲・藤本 山香里 編 2018年3月刊行

少子高齢化による急激な人口構造の変化に伴い、医療・介護・福祉サービスのニーズは一層高まっている。国民が安心して子どもを生み育てられる社会、豊かな老後を過ごせる社会の実現に向けた取り組みは多数実施されているが、必要な人に適切な情報は届いているだろうか。本書では、少子高齢化の要因と医療・介護・福祉の制度や課題、具体的な取り組みを示しながら、本当に必要な支援とはなにかを探る。

■ A5判・252p 定価 2,530円（税込） ISBN：978-4-909364-02-9

### 3 農業・農村の資源とマネジメント

中塚 雅也 編 2019年1月刊行

農山村にある有形無形の資源をどう活かすか…。地域での実践や研究の「いま」を紹介し、大きな転換期にある「農」の現状と可能性を探る。

■ A5判・292p 定価 2,530円（税込） ISBN：978-4-909364-04-3

### 4 災害から一人ひとりを守る

北後 明彦・大石 哲・小川 まり子 編 2019年3月刊行

災害で人の命を失わず、一人ひとりを守る安心安全な地域社会としていくためには、地域に潜む問題点を見つけ、その解決に向かって地域で協力していくことがより一層求められている。本書を通じて、災害時や復興過程において実際に何が問題となり、どのような社会の仕組みのあり方が地域で求められているのかを各地の実情にあわせて考え、ボランティアやまちづくりの実践的な取り組みにつなげてほしい。

■ A5判・248p 定価 2,530円（税込） ISBN：978-4-909364-05-0

### 5 働き方とイノベーション

山口 隆英・鴨谷 香 編 2020年3月刊行

地方における魅力的な働き方の実現と、地域の活性化が大きな課題となっている現在、「地域で働く」ということを深掘りすることが必要である。本書は、地域における魅力的な働き方について整理し、働き方の選択を行う若者に、その情報を届け、そして、地域活性化を実現するために必要不可欠なイノベーションの理論と実践例を紹介する。

■ A5判・264p 定価 2,530円（税込） ISBN：978-4-909364-08-1



## 改定新版 石の綿 終わらないアスベスト禍

松田 毅・竹宮 恵子 監修 2018年7月刊行

かつては安価で体にも害はない物質として、広く使用されていたアスベスト。しかし、それは長い時をかけて体を蝕む恐ろしい物質だった—アスベスト被害の実態、国や企業と闘った人々の姿を描いた『石の綿 マンガで読むアスベスト問題』（かもがわ出版）に、書き下ろしを加えた改訂版。さらに医療や補償、訴訟、リスクコミュニケーション、市民運動など、アスベストを巡る現状を解説したコラムも新たに収録しました。過去を知り、これからは備えるための一冊です。

■ B6判・234p 定価 990円（税込）  
ISBN：978-4-909364-03-6



## アジアの市場経済化と民事法 法体系の模索と法整備支援の課題

金子 由芳 編 2019年3月刊行

本書が主な対象とするアジアの市場経済化諸国は、植民地独立戦争で痛ましい犠牲を払い、北爆や内戦で残骸と化した農地で食をつなぎながら子孫を育て、いまやグローバル市場の外圧に翻弄されながら自立した規範秩序を作り上げていこうと努める国々である。そのような諸国の法整備に伴走する国際協力を通じて、日本の法と社会の抱える課題が、逆に映し出されてくるのである。

■ A5判・328p 定価 4,070円（税込）  
ISBN：978-4-909364-06-7

## 都市環境計画

ヒートアイランド対策に配慮した都市づくり  
竹林 英樹 著 2019年9月刊行

ヒートアイランド現象に関係した課題は、日本国内では2000年代から社会的に大きな関心と呼び、建築分野だけでなく、気象学、地理学などの分野の多くの研究者により研究が行われてきた。本書は、主として建築学科に学ぶ大学生、大学院生、すでに建築環境や設備の計画や設計に関連する技術分野に携わる方々などを対象としており、実際の都市における実効性を志向した教科書。

■ B5判・96p 定価 1,980円（税込）  
ISBN：978-4-909364-07-4

## マンガ／漫画／MANGA

—人文学の視点から—

前川 修・奥村 弘 編 2020年3月刊行

マンガを媒介（メディアート）する知！ かつてないほどに世界を覆い尽くしつつあるマンガ、越境して多様化し、拡散して多機能化しつつあるマンガ、変容するマンガを人文学の複眼的視点からアプローチする。2019年3月2日、3日に開催された神戸大学大学院人文学研究科70周年記念事業キックオフシンポジウム「[MANGA] 人文学研究の新展開—」の成果を刊行

■ A5判・368p 定価 3,080円（税込）  
ISBN：978-4-909364-09-8



## Materialism of Archive 記録のマテリアリズム A Dialogue on Movement / Migration and Things Between Japanese and Mexican Researchers

—移動／移民とモノをめぐる日墨研究者による対話—  
小笠原 博毅 鋤柄 史子 編 2021年3月刊行



「だれのモノを、だれの言葉で語るのか。移動とは線条的な差異の痕跡をたどることではなく、領有と再領有の反復のさらなる繰り返りであり、そこで生じる折衝のあり方なのだ。」

「記録のマテリアリズム」をテーマに2019年11月10日に開催された国際合同シンポジウムの記録

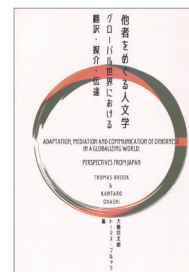
■ A5判・128p 定価 1,760円（税込）  
ISBN：978-4-909364-11-1

## 他者をめぐる人文学

—グローバル世界における翻訳・媒介・伝達—

Adaptation, Mediation and Communication of Otherness in a  
Globalizing World: Perspectives from Japan

大橋 完太郎 トーマス・ブルック 編 2021年3月刊行



「本書の第一の特徴は英語・日本語二言語を併用する形で制作されている点にあるだろう。『日本からの視点』を英語話者にもわかる形で発信することには、実のところ、今日の人文学、とりわけ文学・芸術などを含めた文化研究が置かれた複雑かつ困難な状況が反映されている。」

神戸大学大学院人文学研究科において、過去4年に渡って継続して企画されたロンドン大学東洋アフリカ学院（SOAS）東アジアの文化・言語学部日本・韓国セクションとの共同研究交流の成果をもとに刊行

■ A5判・232p 定価 2,750円（税込）  
ISBN：978-4-909364-12-8

## 〈母〉を問う 母の比較文化史

高田 京比子 三成 美保 長志 珠絵 編 2021年1月刊行



「母」とは何か。古代から現代まで、日本・西洋・中国における多様な「育てる女性」の役割、機能・表象を歴史史料や文学作品から浮かび上がらせる。

母子関係のジェンダー差に注目し、「男性」である息子に「女性」である母がどのように関わってきたかを考察した第一部、国家・共同体などの公的世界と「母」の関係を問う第二部よりなる

■ A5判上製、344p 定価 5,940円（税込）  
ISBN：978-4-909364-10-4